琉球新報 2013年(平成25年)4月23日 火曜日 32面 【社会】 掲載

「相思樹の歌」結ぶ絆

ひめゆり学徒愛唱歌

作曲した東風平教諭の妹

作詞の太田さん墓参

福島

読んで広がる NIE

太平洋戦争の沖縄戦に動員された「ひめゆり学徒隊」が愛唱した「相思樹の歌」（別れの曲）を作曲し、戦死した引率教員の東風平恵位さんの妹・武富文子さん（87）＝沖縄市在住＝が21日、郡山市を訪れた。歌の作詞を手掛け、同じく戦死した郡山商高卒で元陸軍少尉の太田博さんの詩が刻まれた石碑などを見学した。

雪の中、太田さんの詩が刻まれた石碑を見学する武富さん（中央）と鈴木さん（左）ら＝21日、福島県郡山市（福島民報提供）

郡山商高同窓会が創立90周年を記念して編集した「太田博遺稿集」の編集委員らが昨年12月に沖縄県を訪問し、武富さん宅を訪れたのがきっかけになって初めての訪問が実現した。

同校の敷地内にある太田さんの詩の石碑を見学した後、同窓会のメンバーと懇談し、兄・恵位さんの思い出を語った。市内の霊園も訪れ、太田さんの墓を参拝した。

遺稿集の編集委員で沖縄県在住の鈴木伸章さん＝いわき市出身＝らが一緒に訪れた。

「太田博遺稿集」は第35回福島民報出版文化賞正賞を受賞している。【福島民報提供】